

## 「自分らしく…」

みなも卒業生 Y.K

昨年度3月、みなもでは初めて、いわゆる「普通教育」をみなもで終え、専門学校や大学へ進学していった子どもが2名出ました。この文はその一人、黒坂 雄喜君による投稿文です。彼にとってフリースクールとは何だったか…、その思いを語っていただきました。

僕が不登校になったのは小5の後半頃でした。原因は？ と聞かれるとちょっとややこしいのですが、簡単に言うと学校に居るのがとても苦痛でした。算数や理科などは出来ていたのですが、国語や社会の様に読み書きが多い物は極度に苦手でした。

書き取りも遅かったので黒板も間に合わず、理解力も乏しかった為に先生の言っている事も全く分かりませんでした。何を話しているか分からなくて当時はとても苦しみました。

経緯は少し省きますが、上記の事から不登校になった後、学習センターという場所で様々なテストを行なった結果、LD（学力障害）と診断されました。僕の場合、左脳と右脳の発達具合に大きな差があり、右脳の発達は同年代から比べると相当早く、左脳は相当遅かったのが、言語力や理解力が基準よりも低かったのが LD と診断された理由だそうです。

アメリカでは僕のように得手不得手がはっきり

している子には個人の長所を伸ばす教育方法があるようなのですが、日本にはそういった教育は無いと言われました。

それからはしばらく学校に行かず、家で家事を手伝ったり、学校が終わると友達と遊びに行ったりしながら何となく生きていました。学校に行くか行かないかで親ともめた事もありましたが、兄が昔いじめをうけて学校に行かなかった時期があったらしく、理由は違いましたが僕はすんなり受け入れてもらえました。

毎日ずっと家にいると、段々それはそれでしんどい事なのだと思います。次第に友達と遊ぶ回数も減っていき、ゲームやテレビ、洗い物に洗濯物を毎日毎日繰り返しているうちに、何の為に生きているのか？ 何でこんな事をしているのかが分からなくなり、日に日にしんどくなってきました。

そんな僕にある日母が「ラジオで聴いたんだけどフリースクールって場所があるんだって、行ってみない」と言ってきました、ですが最初は気が乗りませんでした。陰気で暗いイメージしか無かったからです。

しゅしゅ連れて行かれたのがフリースクールフォロという所で、その頃まだみなもはありませんでした。

中に入ると同時に僕はとてもビックリしました。想像していたイメージと全く違うかったから

です。皆とても明るく、生き生きしてとても良い雰囲気だったので直ぐに行ってみようと思いました。

引きこもり状態だった僕には全てが新鮮で刺激的でした。今まで使った事もなかったパソコンや、学校に行かなくなっていた鬼ごっこやキックベース。毎日がとても充実していました。

ですが、僕はもともと癖が強かったので、対人関係でとても苦労しました。自分の事ばかりで自分が思うことは皆も思っていると勘違いしていたので度々衝突してしまい、人と上手く付き合う事ができずに死んでしまいたくなるほどに辛く苦しい思いもいっぱいしました。今思うと自分が悪かったと思う事もいっぱいあったと思います。

当時の僕に何度も何度も根負けせずずっと話し合ってくれた人がいました、当時フォロのボランティアに来ていた松浦さんです。

中々に物分りの無かった僕に様々な事を質問し、教えてくれたおかげで段々トラブルも減って行きました。

みなもが出来たのはその頃でした。

それからしばらくしてフリースクールを卒業してバイトに励んだ時期がありました。

ですが、元々メンタルが弱かった僕は、働くにつれて段々病んで行きました。いわゆる鬱と言うやつです。

本気で死のうと考えた事も何回もありました。とにかく生きてることが苦痛でしかたありませんでした。

でもその度にフォロやみなもの友達やスタッフの方々が励ましてくれたのです。多分相当しんどい思いをさせてしまった事だと思います。

独りでいるのが怖かった僕を今川さんが家に泊

めてくれた事もありました。残業の様な事をさせてしまっただけで申し訳なかったと思いますし、とても感謝しています。

フリースクールに来ることで知り合ってきた沢山の人が、物凄く視野の狭かった僕に、世の中色々な人がいて、一人一人性格や考え方が違うのだと言うことを教えてくれました。

スタッフやボランティア、友達や家族、今の僕があるのは沢山の人が僕に色々な事を、向き合っただけで支えてくれたお陰だと思っています。

本当に本当に感謝しています。



↑みなもの卒業式の様子。卒業証書を渡しています。

僕は今専門学校に通いながらみなものボランティアをしています。学校に行かなくなったから進学出来ない、やりたい事も出来ない、と思うのは違ふと僕は思います。

対人関係が苦手、何らかの障害があっても出来ない、克服するのに時間がかかる事もあるので一概には言えませんが、理由が無い限りは少なくとも、本当にやりたい事があれば努力すれば出来るし、進学だってやる気しだいでも何でもなるはず。要は本人の気持ちしだい、どれだけ真剣に向き合っているかだと思います。

だから「自分は学校に行っていなかったから出

来なかった」「フリースクールに通っていたから〇〇」というのは都合のよい言い訳だと思し、「そんなところに行っているから〇〇」などといった考え方は単なる偏見で僕は嫌いです。実際に僕の学校にも、高校を出ていても何もせずに遊びほうけている人はいっぱいいます。

学校に行かないことは悪い事ではありません、何もしない事の方が問題です。別に学校に行かなくてもいいと思います、だからと言ってフリースクールに来なければいけない訳ではありません。



↑スキー旅行の時の様子です。

肝心なのは自分が何をしたいのが、どうしたいのが一番重要な事だと思います。

僕にとってフリースクールは迷っていたり苦しんでいる時に、そっと手を差しのべて導くのではなく、共に考え支えて手助けをしてくれる場所だと思っています。

真剣に向き合ってくれます。そこまでしてくれる教師は学校では滅多に出会えないと思います。

物事は全て、どちらが良い悪いではなく、どちらも良く悪いのだと僕は思います、今の自分には何が必要なのか？ を考えて、自分の気持ちに真っ直ぐに生きて行けたら良いと思います。

自分の可能性をかってに決めつけて諦めて欲し

くありません。

自分らしくです。

これもあくまで一つの僕なりの考え方です。学校に行かない、行けない人、それがいいの人にも、この文書を読んで、何が少しでもお役に立てた事があればとても幸いです。

今まで長い文書を読んでいただきありがとうございました。

---

## みなもの学習の時間について

今回は「みなもの学習の時間」について書いてみたいと思います。

みなもの活動時間は当初から午後1時～8時となっており、この時間中いつでも（スタッフやボランティアの力を借りて、あるいは自分の力で）勉強、学習をしても良い事になっていました。実際、必要に応じて学習していたものです。

が。どーも皆、あまりはかどらない様子。聞いてみると、「他の子が遊んでいるのに気が散って勉強できない」というのが大きな理由でした。そこで色々な案を試行錯誤した結果、午後1時の前に、午前11時～午後1時の2時間を「学習の時間」という事で設定し、「その時間は基本、勉強をする時間」という事にしました。もちろんこの「学習の時間」は、希望者だけが来るもので、強制ではありません。また、以前通りに、午後1時～8時の間に学習の機会を設けることも可能です。

さて、この「学習の時間」。来る人数は日によって様々です。まったく一人も来ない日もあります。一方で7、8人も来ててんてこ舞いになる日

もあります。が、だいたい平均は2～4人くらいという感じでしょうか。



内容も様々です。まずは必要な教科（数学と英語が多いです）の、本人の学習の進度に合わせた学習。本人の希望に合わせて、教科書関係なしにスタッフ・ボランティアが教えながら進めたり、あるいは教科書や参考書に合わせて教えたり、問題を解いたり、一人で学習したり。メンバー同士で教えあったりもしています。必要というよりは興味があるから勉強してみる……という様な場合もあります。



それから、今年度から始まった「サポート校コース」の学習。必要分のレポートを提出し、年に2回の試験に合格しなければなりません(他に課外活動や、放送視聴学習などもあります)。レポートは教科書を見ながら問題を解いていくもので、教科によっては一人でも出来ます。が、数学や理科などはやはりスタッフの説明を聞いた方が良いでしょうし、また国語・社会・英語にしても、独力でやる場合もありますがスタッフの説明を聞いてやる事が良くあります(とりあえずまずレポートを完成させておいて、後で説明を聞く、なんて

場合も)。これを必要分こなしていけば、みなもに来る+αで高校卒業資格が取得できますので、結構多くのメンバーがこのコースを選択しています(と言っても、学習は毎日必要なわけではないですし、1時から皆と同じく好きな事をしてるわけです。もっとも、「一度着手したからには」というわけで1時半か2時くらいまで学習を続けている様子もよく見られます)。

次に、高校卒業認定試験の勉強。これは(みなもにサポート校コースが出来たため)以前よりは希望する子の人数は減りましたが、最低限の勉強だけで高校卒業相当(大学受験可能な)資格が得られるため、学習の意欲がなかなか持てない子や、最低限の労力でそれらの資格を得たい子にとっては非常に有効です。高校卒業認定試験には結構「問題の傾向」というものがあるため、普通に勉強する一方で、この傾向対策もしていきます。

そして、大学受験(あるいは専門学校受験など)の勉強。メンバー自身の得意・苦手を分析しつつ、また過去問題集なども見ながら最適な勉強方法を探っていきます。もちろん、今までに書いた様なスタッフ・ボランティアによる説明なども交えながら。

これらすべてに共通する事ですが、なるべく子どもたちにとって面白く、興味が持てるように工夫しています。今川は特に理科や国語の説明が得意で、松浦は過去に社会科教師としてもその様な教え方を工夫していました。また英語に関しては多読英語(簡単なレベルの絵の多い本から始めて大量に英語を読んでいくことによって、英語を習得していく手法)の本を使ったり、その子が好きなアニメの英語字幕を活用して英語を勉強していく……という事をやったりしています。数学も中学生レベルは松浦が教えるのが得意で、高校レベルは今川が得意……という風に、ほぼ全部をカバーできています。ボランティアの方にもたくさん入っていただいて、教えていただいています。

また、学習の時間に雑談めいて時事ニュースの深い話題になったり、勉強の方法や教育問題に関する話になったり、生き方に関しての話になったりもします。もしかしたらこちらの方がメンバーにとっては良い学びになっているのではないのでしょうか。

元々みなもは、「学びの講座」を充実させたフリースクールを作りたい……という思いも込めてスタートした組織でもありました。当初はこれはなかなか実現できず、他の面での充実を優先させてきましたが、ここに来てこの「学びの講座」の時間も、結構組織的に組むことができるのでは…？ という風な感触も出てきました。そして実際今年頭あたりから、理科や数学、簿記、さらにゲーム制作などの講座が動き始め、継続していています。今後も、必要な学びと、本人が望む学び、そして人生に資する学びを、充実させていきたいと考えています。

(松浦)



↑ 簿記の講座の様子です。



↑ ゲーム制作部（講座）の様子。女の子が多く、盛り上がっています。

## ● みなも運営レポート

2010年2月時点での、一ヶ月の主な収支は以下のようになります。

### 1ヶ月の主な収支

収入		支出	
利用者月会費	607,500円	スタッフ報酬	280,000円
		家賃	157,500円
		水道光熱費	16,190円
		交通費補助	44,836円
		電話代	2,006円
		インターネット	7,077円
		消耗品費	11,693円
	607,500円		519,302円

※利用料月会費は2011年2月実績。

※支出はスタッフ報酬、家賃、インターネット代は固定。

それ以外は2010年度の月平均。

昨年4月から常勤3名（今川・松浦・中居）への謝金を10万・10万・8万としていましたが、実は11月ぐらいまでギリギリでした…。

…が、12月に入り多くの入会者に来ていただき（一時は体験入会だけで6人と、嬉しい悲鳴な状態でしたが）、おかげさまで2011年2月現在、会員数33名（体験入会含む）、現在では少々プラスの状態となっています。謝金以外の月々の収支は、概ね25万円前後でここ数年変動がありませんね。従って月々の月謝-25万が、スタッフへの謝礼金となります。

来年度の謝金等は4月の収支見込みを鑑み、3月の理事会にて決定致します。



↑ 2010年末のお泊まり会の様子です。この日は宿泊しなかった子も含めて25名以上がみなもにきました。

## ◆ みなもかわらばん

### ➤ 賛助会員・カンパのお願い

上記運営レポートのように、今年度は会員の方も 30 名を超え、スタッフへの謝金も一人に対して 10 万円を越えるところまで来ました。スタッフがこの仕事のみで生活できるようになるまであと一歩といったところです。まずは私たちの団体をここまで応援していただいたみなさまに、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここで日頃応援していただいている皆様に、改めてお願いがございます。

財務的なことに関して、私たちが（特に今川が）開設当初より抱いていた思いがあります。それは「寄付に依存した組織にはしたくない」ということでした。確かに皆様からの寄付金は、運営を支える上で大きな力となります。しかし、それに甘え頼りきってしまうと、もし寄付が途切れたとき、組織の運営に大きな痛手となってしまいます。そうなる困ってしまうのは通ってくる子どもたち…。

そのため、まずは幹となる事業を一本育て、安定した運営体制を作ろう、その思いでこの 6 年間少しずつ、フリースクールを育ててきました。それはまだまだ成長過程ながら、一定の成功は収めたように思います。少なくとも、今後数ヶ月や 1 年でこのスクールが深刻な危機に瀕することはないでしょう。

しかしその思いが強すぎたのか、現在、「寄付に依存」とは逆の方向に極端な財務状況となってしまいました。つまり、事業収入に依存する率が高すぎる、ということです。

事業収入	寄付・助成金収入	事業：寄付比率
5,797,915円	163,000円	99:1 (%)

確かに、これにより経営の安定感は確保できました。しかし、それはあくまでも最低限の安定に過ぎません。スタッフ謝金でもわかるように、まだまだ一人が最低限生活する程度の額。家族を養えるレベルではありません。

もっとも、これだけなら事業で改善の余地があります。今後の子ども人数の増加により、15～20 万ぐらいまでは可能性があります。

しかしそれだけではどうにもならないのが、「無償スタッフ」に支えてもらっている現実…。彼らにも報いていかなければならないのですが、それは最低限の事業収入では不可能なことです。

教育に熱意を持った若者でみなもを立ち上げて 6 年、未熟ながら日々の努力を重ねてきた結果、昨年初めてみなもでいわゆる「普通教育」を終えて、高等教育へ進んだ卒業生も出ました。ここに来てようやく自分達の活動が軌道に乗り、皆様に自信を持って「支援してください」と言える活動になりました。

最低限の安定は事業で賄います。皆様にご協力いただきたいのはプラスα、活動をより充実させるためのご支援です。

昨年度より、企業の助成金申請にも本腰を入れて取り組み始めました。公的な支援を受けるための取り組みも行っています。もし私たちの活動に賛同して戴けるなら、是非とも賛助会員としてご支援いただきたく思います。必ずや皆様の支援を子どもたちのため、社会のために還元したく思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

賛助会員の皆さまには、「みなも通信」をお送りさせていただきます。

賛助会費のお支払いは、スタッフに手渡し、または郵便振替で。

郵便振替の場合は、「氏名」「住所」「電話番号」「費目（賛助会費として）」「会報への氏名掲載の可否」を備考欄に明記の上、下記の口座まで、お願いいたします。

#### 【賛助会費】

1口 3,000円／年（複数口のご応募も歓迎）

振込先：00960-0-204146

（加入者名：フリースクールみなも）

### ➤ 譲ってください！

現在、希望が出ているのは、下記の通りです。ご家庭にあるもので、現在お使いになっていないものがありましたら、みなもまでご連絡ください。（それ以外にも、フリースクールの活動に役立つようなものがあれば、ぜひご一報ください）。

【希望のもの】グローブ／楽器（ベース）／アンプ／録音周辺機器（ケーブル、ミキサーなど）／ゲームキューブのコントローラー／切手／掃除機／小型掃除機／マウス／タオル／食器洗い用スポンジ／遊戯王やデュエルマスターズのカード／座椅子／丸椅子／などなど……

### ➤ ボランティア募集！

フリースクールみなもでは、ボランティアを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格などはありません。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたい、という気持ちがあれば OK です。ご関心をお持ちの方は、お気軽にみなもまでお問い合わせください。

### ➤ 「まんま会」のご案内

フリースクールみなもでは、原則毎月第3土曜日に「みなものまんま会」（不登校の子を持つ親の会）を開いています。

「まんま会」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにでも参加していただけます。参加をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第3土曜日の14:00～16:30、  
場所：フリースクールみなも  
参加費：500円（お茶菓子代として）  
アドバイザー：中尾安代さん

（みかんさん＝結空間代表）

担当スタッフ：中村有美

### ➤ ブログ・掲示板のご紹介

みなもでは、日々のようすを写真付きでブログに書きつづっています。みなも内のようすや外出した時の話、みなもの中で話題になったこと、それから「まんま会」のようすやシンポジウムなどに関する事なども書いたりしています。

また、みなものホームページでは、2つの電子掲示板（BBS）を設置しています。書き込みもお気軽にどうぞ。

## ◆ スタッフひとこと

事務や外部の仕事などで、子どもと遊ぶ時間が減りました。団体としてはよいことなのでしょうが、もっと子ども達と一緒にいたいものですね…。（今助）▼民間スクール連携のためのSNSを立ち上げて、連携を探っています。興味のある

方はご連絡下さい（でっせむ）▼新しくPSPを  
買いたいのどこにも売ってない！！（なかい）  
▼最近デュエマが面白い（いぶき）▼扇町公園で  
ちっちゃい三毛猫を拾って帰り…早や10ヶ月。家  
族が帰宅すると必ず玄関で出迎え、犬みたい。可  
愛いんだけど、嘔み癖と夜中と爆走（汗；くら  
ら）▼最近、みなもではノベルゲームを制作中。  
皆でひとつの作品を仕上げるのは、自分一人で物  
作りをするのとはまた違った楽しさがあります。  
（マイヤ）▼ボランティア6年目にして無給スタ  
ッフにジョブチェンジ！よろしく願いいたしま  
す。（末吉）

## ◆ 編集後記

前回のみなも通信からだいぶ日が経ってしま  
い、本当に申し訳ありません。ただ、この1年は  
みなも全体を問い直す会議を何度も持ち、みなも  
のあり方を改変していった時期でもありまし  
た。その改変後の体制の中で、みなも通信が滞り  
なく出せる様にしていきたいと思えます。

子ども達の入れ替わりも結構あり、新しい子も  
増えました。当たり前のことですが、雰囲気は少  
しずつ変化していています。その中でやはり、  
小さかった子が大きくなり、まだ将来のことをそ  
れほど考えないで（考える事ができないで）いた  
子たちが、将来に向けての具体的な活動に、徐々  
に入り始めている感があります。

スタッフサイドでも、この1年に大きな変化が  
あった様に感じています。サポート校コースの導  
入はまず大きな変化でしたが、オルタナティブ教  
育新法案に関わって今川が東京シューレに良く出  
向くようになりました。今川は各地のスクールを  
見て回り、和歌山県のきのくに子どもの村学園や  
箕面こどもの森学園にはスタッフの多くが見学  
に行かせてもらいました。そんな中でみなものあり  
方を問い直し、各スタッフの役割分担を明確化し、

スタッフ間連絡についても改善をはかっていっ  
ています。

また、教育の多様性を推進する「おるたねっと  
関西」や、多様な教育のあり方について調べ話  
し合う機会を持つ「オルタナ研究会」の企画に協賛  
して、合同で活動をおこなっていています。ま  
た関西の民間スクールの連携を目指してSNSを  
立ち上げ、人材やものの融通や情報の共有を目指  
していています。

最近、文部科学省推進の「リアル熟議」にも参  
加し、そこで「そんなことは無理だよ、と言われ  
ても、めげずにちょっとずつやっていくことが、  
社会を変えることになるんですよ」と言われまし  
た。本当に、めげずにやっていきたいと感じてい  
ます。

---

### 『フリースクールみなも通信』第8号

発行日：2011年3月10日（本号8頁）

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみな  
も（理事長・今川将征）

編集担当：松浦 豊

---

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも  
（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

会員（利用者）：33名（2011年2月現在）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤3名（ほか非常勤数名）

オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0036 大阪市北区与力町2番8号  
東寺町ビル1F（地下鉄「南森町」駅から徒歩3分、  
JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩3分）

電話・FAX：06-6881-0803

対象年齢：6歳～20歳（入会：18歳まで）

活動時間：月曜日から金曜日の11時～20時

入会説明会：随時（体験入会は1ヶ月間無料）

---